

～飼料コスト削減に向けた耕作放棄地の再生利用～

茨城県筑西市

取組主体:地元農業者(認定農業者)

取組開始時期:平成27年

解消面積:1.01ha(平成27年9月時点)

導入作物:飼料用とうもろこし

1. 取組のきっかけ・経緯

当市は、鬼怒川・小貝川などが南北を貫流し、肥沃な農業地域で農業を基幹産業としている。一方で、農業者の高齢化、後継者不足等により耕作放棄地は増加し続け、今後の農業経営に深刻な影響を及ぼすと懸念している。

取組主体である農業者は、搾乳牛による酪農経営をしているが、年々高騰を続ける飼料価格が経営の負担となっていたことから、耕作放棄地の解消及び飼料を自給することによる飼料コストの削減との相乗効果を目的として、農地再生の事業に取り組んだ。

2. 取組内容

長期間の耕作放棄により、立木や草が繁茂していた状態であったため、重機を用いての伐採、抜根、運搬、処分、整地作業の農地再生の作業を行った。

また、地力が落ちていたため、堆肥を施し、土壌改良を行うと共に営農定着を図り、ソルガム(地力増進作物)の作付を行った。

3. 今後の課題・予定など

長期間の耕作放棄により、地力が低下していることから、継続して地力の回復に努める。

また、飼料作物を増産することにより、飼料の更なるコストダウンを図り、酪農経営の健全化を目指すとともに、国産飼料による飼育で高付加価値を生み出し、商品の競争力強化を図る。

4. 活用した補助事業

(国) 耕作放棄地再生利用緊急対策交付金

(補助内容:平成27年度、1.01ha、重機を用いて行う等の再生作業、土壌改良、営農定着)



再生前



再生後